

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア／米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2021年10月）1,925,019TEU（1.4%増）（2020年10月：1,898,334TEU）

・《10月単月で過去最高を更新、ASEAN積は2か月連続の減少》

復航（2021年8月）502,396TEU（4.6%減）（2020年8月：526,868TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比1.4%増で3か月ぶりのプラス。2021年10月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比181.7%増の10,760ドル/TEUで18か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.6%減で3か月連続のマイナス。2021年10月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比65.4%増の1,340ドル/TEUで18か月連続のプラス。

欧州航路 往航（2021年9月）1,381,566TEU（5.3%減）（2020年9月：1,459,097TEU）

・《3か月連続の減少、東南アジア積は16.2%減》

復航（2021年9月）620,321TEU（12.9%減）（2020年9月：712,147TEU）

- 欧州往航（アジアから欧州）は、前年比5.3%減で3か月連続のマイナス。2021年10月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は前年比411.9%増の7,730ドル/TEUで17か月連続のプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は、前年比12.9%減で3か月連続のマイナス。2021年10月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比40.8%増の1,830ドル/TEUで23か月連続のプラス。

日中航路 往航（2021年9月）736,992トン（13.3%減）（2020年9月：850,382トン）

・《紙類を中心に減少し、統計開始以来9月単月としては最低》

復航（2021年9月）1,754,889トン（11.1%増）（2020年9月：1,579,481トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比13.3%減で5か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比19.2%増の8,014億円で10か月連続のプラス。2021年10月の横浜-上海間の運賃は前年比38.5%増の540ドル/TEUで11か月連続のプラス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比11.1%増で5か月連続のプラス。金額ベースでは前年比14.3%増の1兆2,137億円で4ヶ月連続のプラス。2021年10月の上海-横浜間の運賃は前年比41.5%増の920ドル/TEUで20か月連続のプラス。

アジア域内航路 （2021年9月）3,790,818TEU（8.8%増）（2020年9月：3,483,250TEU）

- CTS社による集計では、前年比8.8%増となる379.1万TEUで16か月連続のプラス。2021年10月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比93.4%増の1,590ドル/FEUで15か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*,に基づく

図-1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

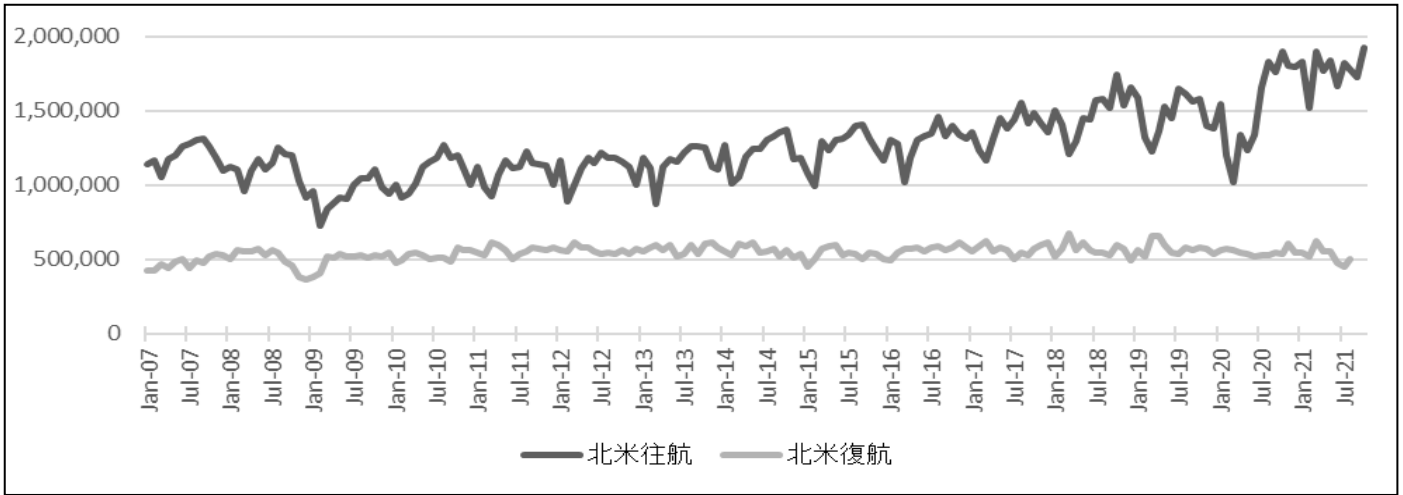


図-2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

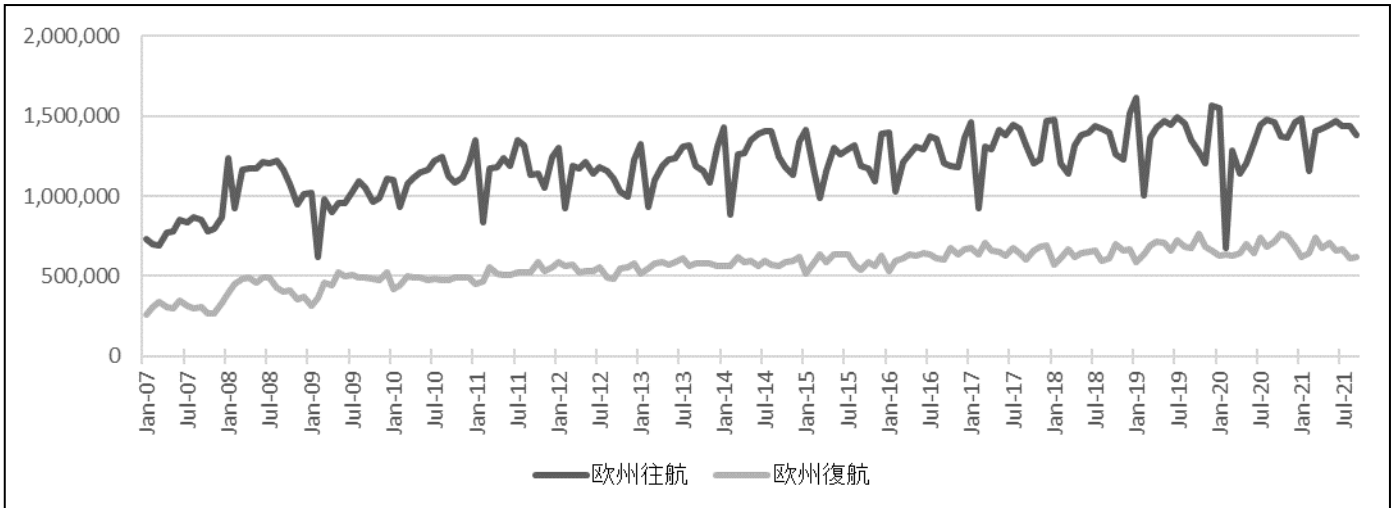


図-3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：トン）

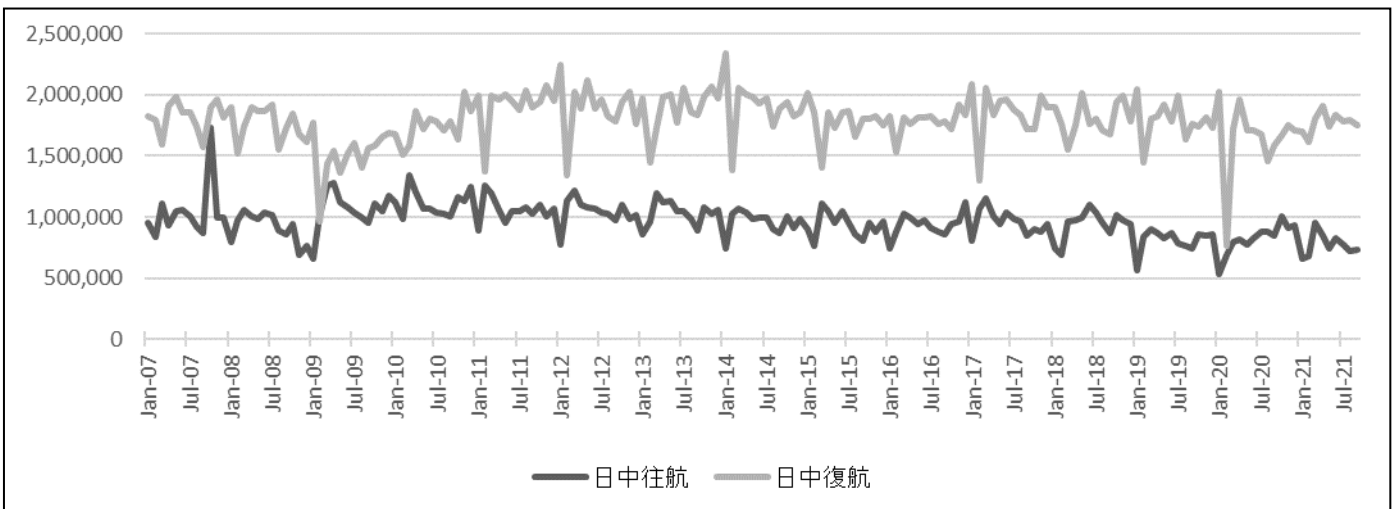


図-4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

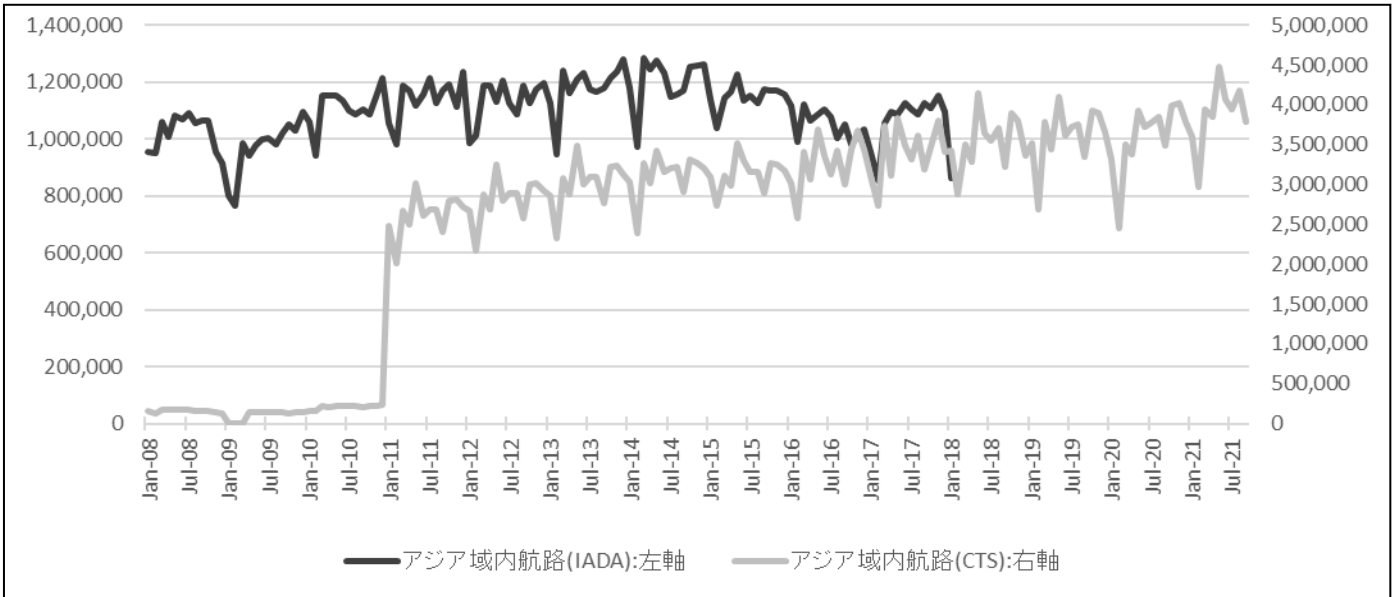


図-5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: 指数 (CCFI)、ドル/TEU (Drewry))

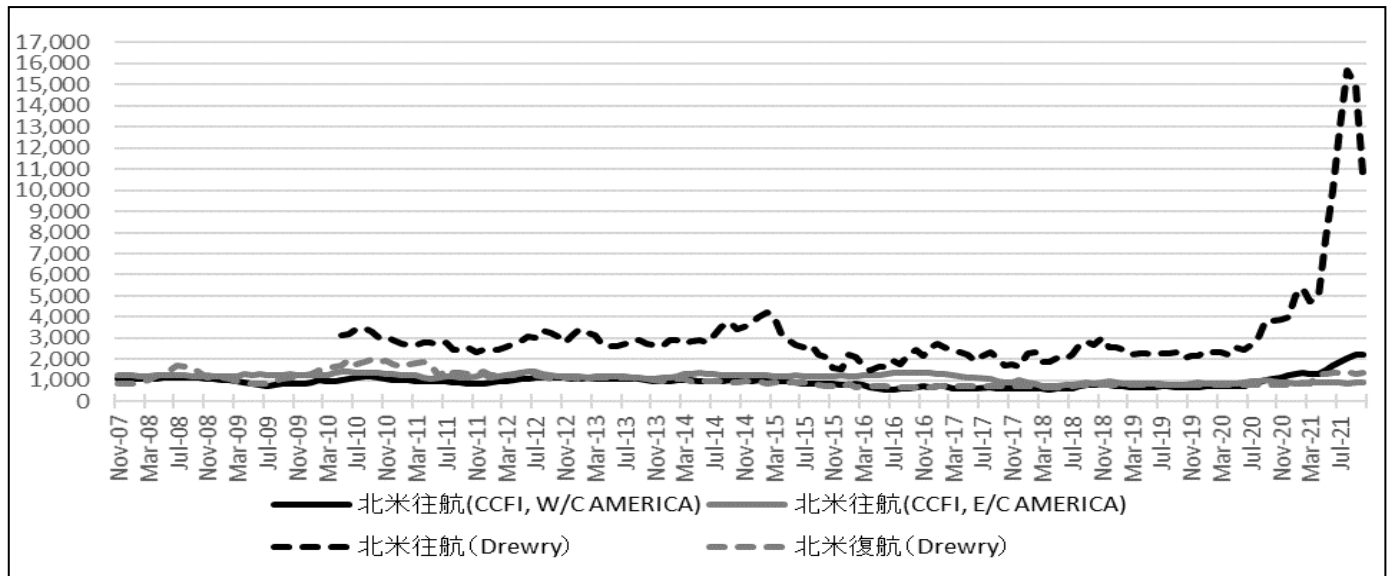


図-6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: 指数 (CCFI)、ドル/TEU (Drewry))

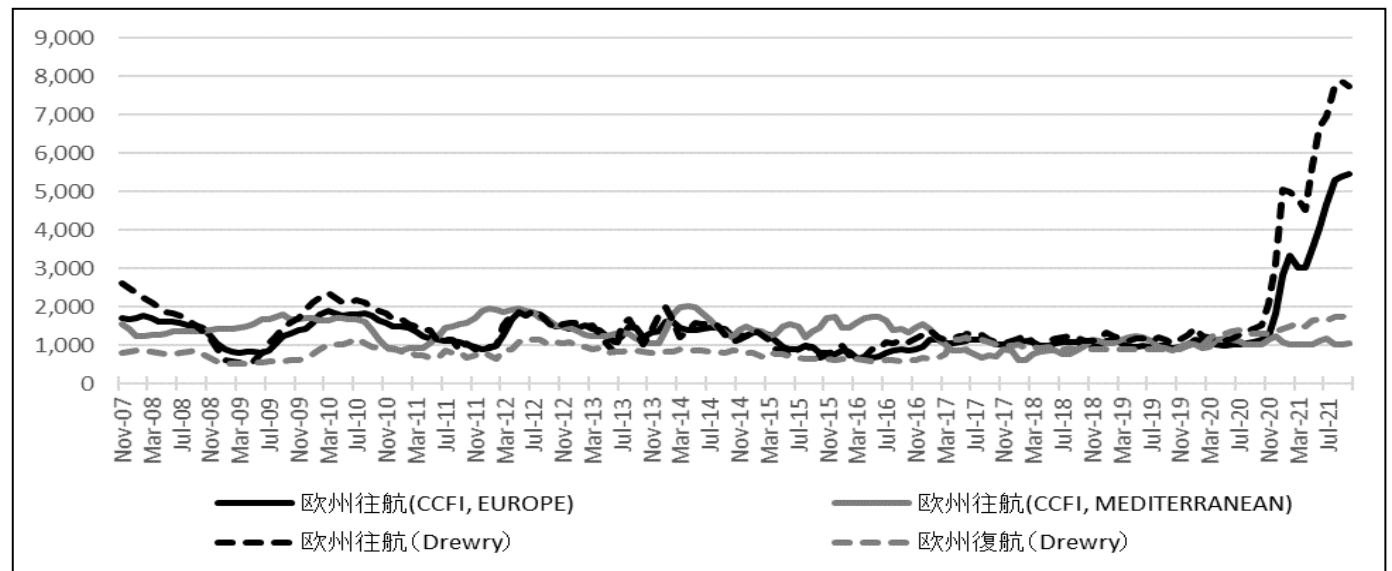
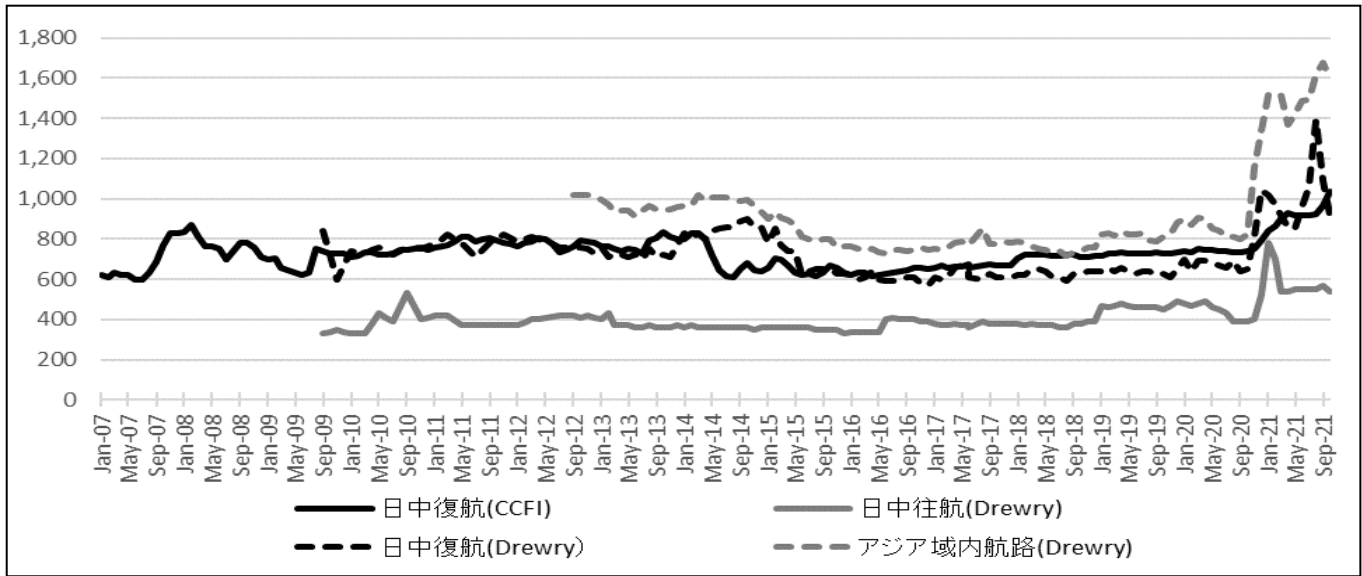


図-7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移

(単位：指数 (CCFI)、ドル/TEU (Drewry・日中往復航)、ドル/FEU (Drewry・アジア域内航路))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量
 - ・ PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量
 - ・ Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量
 - ・ IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース)
 - ・ (公財) 日本海事センター企画研究部 (注：財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航)
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数 (CCFI)
 - ・ 上海航運交易所 <https://en.sse.net.cn/homel>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月)
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CCFI) と示した列))
 - ・ Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と日本 (横浜) 間の運賃)
- 9.BDI (バルチック海運指数)
 - ・ Clarkson Research “Shipping Intelligence Network”
- 10.円ドルレート
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>